

# 病害虫発生予察特殊報第1号

平成19年9月26日  
三重県病害虫防除所

本県において、プラタナスグンバイの発生が初めて確認されましたので特殊報として発表します。

1 病害虫名 : プラタナスグンバイ *Corythucha ciliata* ( Say)

2 発生確認作物名 : プラタナス

3 発生確認地域 : 四日市市、津市、松阪市、伊勢市、伊賀市

## 4 発生確認の経過

平成19年9月6日に四日市市でプラタナスグンバイが発生しているという情報が病害虫防除所に寄せられたため、平成19年9月上中旬に街路樹等のプラタナスを調査したところ、四日市市、津市、松阪市、伊勢市、伊賀市において、白化症状が見られた葉からプラタナスグンバイが採取されました。

本種は北米での分布が知られていますが、近年ヨーロッパ、韓国でも発見され、国内においても平成13年に愛知県で確認されてから特殊報として報告された都府県は、新潟県、東京都、神奈川県、静岡県、岐阜県、京都府、大阪府、広島県、愛媛県、福岡県に及びます。

## 5 形態

成虫の体長は3.5mm~3.7mmで、レースのような翅や突起をそなえています。背面からみると全体的に乳白色ですが、前方には横一文字に薄茶色が、翅の中央部には一對の明瞭な黒紋があります。

終齢幼虫は黄褐色と黒色のまだら紋様で、全体に棘状の突起があります。

## 6 生態

国内では、年3世代を繰り返し、成虫がプラタナスの樹皮下で越冬するとされており、プラタナス及びイタリヤポプラで発生が認められています。

海外では、クルミ科、ブナ科、クワ科、マンサク科、スズカケノキ科、トウダイグサ科、カエデ科、モクセイ科の広範な樹木に寄生するとされています。

## 7 被害

成虫、幼虫ともに葉裏に寄生し、吸汁により葉の表面は斑点状に白化します。葉の基部の葉脈に沿った部分で白化が多く見られ、寄生が多い場合には葉全体が白化~黄白化します。また、葉裏には黒い粘液状の排泄物が見られます。

多発生した場合には樹木全体で葉が白化し美観が損なわれます。なお、人畜に対する害はありません。

## 8 防除対策

薬剤防除を行う場合には登録のある農薬を使用するとともに、農薬の飛散に十分注意してください。



図 1 プラタナスグンバイ成幼虫と排泄物による汚れ

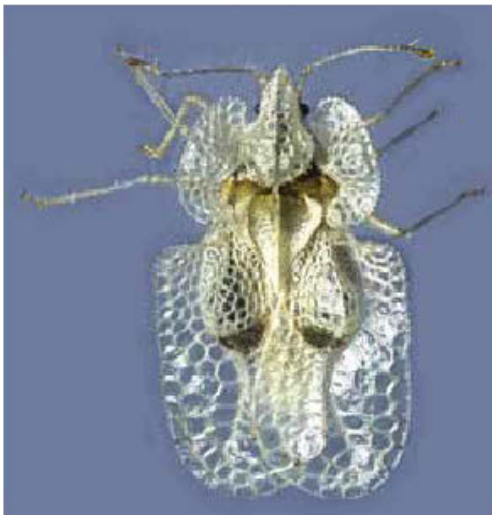


図 2 プラタナスグンバイ成虫



図 3 プラタナスグンバイ幼虫



図 4 プラタナス被害葉

住所 三重県松阪市嬉野川北町 530

電話 0598-42-6365

FAX 0598-42-7568

URL <http://www.mate.pref.mie.jp/bojyosyo/>